

# 山協ニュース

(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会

第212号

令和2年1月31日発行

[https:// iwatesankyo.or.jp/](https://iwatesankyo.or.jp/)



## 令和元年度初冬期講習会兼指導員 (コーチ)研修会

令和元年12月7日(土)8日(日)にかけて、初冬期講習会兼指導員(コーチ)研修会が八幡平市の三ツ石山で土井祐之(コーチⅡ、北上山岳会)中島隆之(コーチⅡ、北上山岳会)寺内宏普(コーチⅠ、高体連)3名を講師に開催されました。

参加者は、検定参加者：村上友志(岩手アルペンローズ山岳)吉田誠(岩手アルペンローズ山岳会)吉田みさ子(岩手アルペンローズ山岳会)遠藤光志(八幡平市山岳協会)樋口由実(滝沢山岳会)5名 会員参加者：阿部陽子(コーチⅡ、日本山岳会岩手支部)星晃(コーチⅠ、北上山岳会)及川真紀(北上山岳会)佐藤英喜(北上山岳会)加藤恵理子(北上山岳会)高橋育子(北上山岳会)澤口誠(日本山岳会岩手支部)高橋瑞穂(日本山岳会岩手支部)森美枝子(日本山岳会岩手支部)高橋勇一(日本山岳会岩手支部)熊谷加奈子(日本山岳会岩手支部)澤野沙織(日本山岳会岩手支部)高橋万見子(日本山岳会岩手支部)館澤博文(滝沢市山

岳協会)岩間博美(岩手アルペンローズ山岳会)竹田隆介(岩手アルペンローズ山岳会)20名、一般参加者：西田亮太1名の計26名で実施されました。

1日目、12月7日(土)8:00受付開始。朝まで雪が降り、松川温泉駐車場でも15cm程の積雪があった。今回の研修会は26名と人数が多かったため、土井、中島、寺内の3講師で3つのグループに分け、それぞれで研修内容の指導にあたった。



駐車場で開講式を行い、アバランチトランシーバーのグループチェック、読図についても説明を行い、8時40分頃出発する。三ツ石山荘までの途中でも、読図について確認しながら進む。それぞれがスノーシュー、ワカンをつけて進む。途中、ひざ下のラッセルもあり、定期的にトップを交換しながら進んだ。

12:30に三ツ石山荘に到着し、昼食をとる。その後、13:15～14:30までアバランチトランシーバーを利用し雪崩搜索の基礎についてグループごとに講習。「とても楽しい！」という声も上がる。14:30～15:30 ツェルトを使ったビバーク法について講習を行った。始めに寺内講師が小屋の中で説明した後、実際の外に出てツェルトを張る実践を行った。15:30～16:10 低体温症、凍傷対策について、中島講師から説明を受け、意見交換を行った。その後は、盛大な懇親会。所属の会の垣根を超え、大いに山について語り合った。

8日(日)7:00の出発に合わせ、それぞれが朝食をとり準備。急斜面では腰近くまでのラッセルもあり、トップを交換し、全てのメンバーがラッセルを体験する。三ツ石の山頂に8:15到着。全員で記念写真を撮る。コーチ検定のいるAグループは、下山途中の急斜面でアイゼン・ソピッケル訓練も行った。

9:00小屋到着。9:30小屋を出発。12:00松川温泉駐車場到着。閉講式を行い解散する。

今回の講習、研修会ではアバランチトランシーバーの捜査について、ビバーク技術、低体温症・凍傷対策、読図(ナビゲーション)、歩行技術(ワカン、スノーシュー、アイゼン)、ラッセル技術について指導しトレーニングをしっかりと行うことができ、とても充実したものになったと考えている。更に、講習会、研修会を行い、登山者、コーチのスキルアップにつなげていきたい。(報告：土井祐之)



## 小山勝稔協会副会長(公財)岩手県体育協会 体育功労表彰受賞

今年の(公財)岩手県体育協会体育功労表彰を小山勝稔氏(翌檜山岳会)が受賞。小山副会長は、協会事務局長、理事長、指導員会会長として、協会の発展に尽力してきました。特に いわて国体山岳競技においては実質中心的な役割として全般を取り仕切り、リード壁の建設、役員養成、日山協との調整など国体成功に向け組織を牽引し、スポーツクライミングの普及にも努め、選手の発掘にも尽力してきました。また現在は(公財)日本山岳・スポーツクライミング協会スポーツクライミング部国体委員会の副委員長として活躍されており、県山協ではスポーツクライミング部門の担当副会長として大会の運営に尽力して頂いています。

## 佐藤誠指導員会会長(公財)日本スポーツ協会 公認指導者表彰受賞

今年の(公財)日本スポーツ協会公認指導者表彰を佐藤誠指導員会会長が受賞。12月7日の東京での授賞式に臨まれました。佐藤さんは、協会指導部長、副理事長として、また公認指導員として、岩登り、沢登り、冬山技術指導に当たられました。そして国体・東北総体そして県民体等の山岳競技の普及と発展に携わり、指導員養成に尽力し、指導員の技術力向上や各種大会の運営に努め、協会の振興・発展に貢献してきました。現在、指導員会会長として活躍中です。長年の地道な活動が評価されての受賞です。

## 令和元年度東北総合体育大会山岳競技 ブロック会議酒田市で開催

東北ブロック会議兼日山協ブロック別研修会が11月23日(土)、24日(日)の二日間、山形県酒田市「湯の台鳥海山荘」で開催されました。ブロック会議には東北六県から17名、審判員更新研修には22名が参加、岩手からは、吉田会長、土井指導部長、小野寺事務局長が出席。

一日目は開会式の後、それぞれ国体競技情報交換会・ブロック別研修会(審判員等更新研修)が行われました。二日目にブロック会議が行われ、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会技術委員会中村氏より競技ルールの変更とスポーツクライミング競技を取り巻く周囲の環境の変化が大きくなってきていることに対する対応と、関係者に対する適切な指導の依頼がありました(競技ルールの変更⇒IFSCの基準による競技運営)。さらに会議では、東北ブロック会議のあり方について議論がなされました。今まで持ち回



りで担当していた東北ブロック代表の理事がいなくなり、会議の時に毎回行っていた日山協（JAMSCA）からの報告ができなくなり、あわせて東北の意見や意思を日山協（JAMSCA）に伝える役割もなくなってしまっ



た。さらに、昨年度から実施されたJAMSCA公認審判員及びルートセッターの登録・更新手続きの

変更に伴い、従来ブロック会議にあわせて実施していたブロック別研修会に、審判員及びルートセッターの更新研修会が追加された。今までは1日目が研修会で2日目がブロック会議の日程で開催されてきた東北ブロック会議だが、日程的にも厳しく、ブロック別研修会とブロック会議を別日程で開催するなどの対応を検討すべき時期に来ており5月の連絡協議会でも協議することになった。

来年の東北総体は、山形県山形市天童市で7月17日から19日開催を決定。

## IFSC 複合予選会 トゥールーズ 2019

### 伊藤ふたば選手 優勝

2019年11月28日～12月1日、フランス・トゥールーズにてIFSC複合予選会が開催され、女子では伊藤ふたばが1位となった。

女子は29日の予選に日本から森秋彩と伊藤ふたばが出場。森は1位、伊藤は5位で、12月1日の決勝に進んだ。伊藤は第1種目のスピードは4位でこの種目を終える。第2種目のボルダリングは、第1課題は二撃で仕留め2位で第2課題へと進み第2課題を2トライ目で沈め、首位に浮上した。最終の第3課題は2トライ以上かけてしまうと1位から陥落するところだったが、何度も体勢を整えながら進む粘りのトライで一撃。会心のガッツポーズも飛び出して、総合順位でも首位に上昇した。最終種目のリード。最終8番手で登場する。残された最後の力を振り絞りながら進んでいくと、高度8を超え、7位以内が確定。24+で落下し7位に終わったが、合計28ポイントとなって見事に優勝を勝ち取った。国内外を通じ、3種目を1人の選手が行うコンバインド種目の大会で1位獲得はこれが初となった。

## 名誉会員・顧問懇談会開催

令和2年1月13日(月)午前10時からホテルメトロポリタン盛岡で、名誉会員・顧問10名の皆さんの出席を頂き、令和元年度名誉会員、顧問懇談会を開催しました。

最初に吉田会長から、アジア選手権大会中止に至った経緯と日山協から、代替えとしてコンバインドジャンプカップの開催予定であることを含め、80周年行事の件、元会長工藤洋司氏、前会長高橋時夫氏の日山協表彰等について挨拶し、その後各部長から今年度の活動状況の報告がありました。

懇談会で出された意見、質問と執行部からのコメントの要旨を掲載します。

Q 全国の参与の人数は東京と同じく7名と多い。県山協の定款でも参与の規定があるが今日の会議にはなぜ入っていないのか

A 法人化になるとき参与制度について細則等継続検討できなかった。今後検討していく。

Q 前会長高橋時夫氏は岩手県では初めて全国の副会長になった。焦点を絞って慰労会を進めてほしい。

A 日山協の功労賞表彰もありご本人の意向を確認し考える。

Q 県山協は当初7団体で出発し高校は全部の学校にあった。創立以来の団体数の推移を示してほしい。

A 近年、高齢化で脱退するところもあるが、友愛病院山の会、高山植物山想会等新しく加盟してくる団体もある。改めて推移を示したい。高体連は少子化、学校の統廃合の関係で減っている。やむを得ないところもある。他に加盟を打診している団体もあり加入を促進していきたい。

Q オリンピック終了後は協会をどのようにしていくつもりか

A オリンピック終了後も岩手はそのまま進めていく。スポーツクライミングに関わっている人も個人会員制度を利用し会員として誘っていきたい。

Q 80周年行事は3・5・8と末広がりという意味している。どのように取り組んでいくのか。八合目避難小屋の意味も含めてみてほしい。

A 80周年の具体的な案はまだだが、記念誌、国内外の記念山行等を考えている。チーフを決め実行委員会を立ち上げて進めていきたい。

Q 日山協の赤字について財源をどのようにするかという話はあるのか。かつて日山協は財政的に苦し

い時、参与会をつくり共済の還付金等で一息ついた時期があった。アルペンが金を集め、SCが使ってしまう。クライミングを離れたらどうかという話はないのか

- A 財政的なことは田中会長の時から話はしていた。詳しいことはわからないが、借財の積み重ねのついで盛岡アジア大会が中止になった。

8月の八王子の世界大会では相当の観客数を見込んでいたがそれほど入らなかった。いま共済のお金は山岳の方に使っている。SCはIFSCとかIOCとかスポーツ庁関係の予算でやっている、またスポンサーの広告収入が大きなウエイトを占めている。登山は伝統的にしっかりとしたやり方でやっているがSCが入って来て組織が大きくなった。これをどのようにやってゆくかというのが日山協の大きな課題である。ところで、他県ではSCの大会をジムにお願いしてやっている。ところがそのジムがしばんできている。急に大会を断られた県も出てきている。岩手は昔から山岳競技として協会が中心になってやっている。競技団体だという思いを強く持ち岩手は岩手方式でやっていけばいいと思う。

- Q 赤字になる大会は岩手ではやらないでほしい。岩登りの講習会にスポーツクライミングをやる人は参加しているのか

- A スポーツクライミングの人は参加していない

- Q オリンピック選手の選考の時期は決まったのか

- A オリンピック委員会との関連もありいつになるか不明である。

- Q 赤字を出すなど言われても事業をやってみないとわからないところはある。少なくとも岩手県では自分たちの力・財政の中でやってほしい。80周年もやれるところでやってほしい。岩手も山岳会、役員を見ても時代で変わってきている。良い面悪い面それぞれある。登山者が山で遭難しない、山が好きになるようなで、山に登った子供たちが山はよかったとって60歳70歳になっても続けられるような人を育ててほしい。私らは地方の山を安全に歩く、健全な山男を育てることに全精力を傾けてほしい。岩手には岩手の伝統がある。足が地についた形で執行部も議論してほしい。岩手県山岳協会の土台をきちんと見極めて進めてほしい。

- A 貴重なご意見心強く聞かせていただきました。ありがとうございます。

総会は5月23日を予定しております。よろしくお願ひします。

## 新春懇談会開催・県体育功労者・スポーツ指導者表彰祝賀会・国体・インターハイ報告会

令和2年1月13日(月)午後1時30分からホテルメトロポリタン盛岡本館で名誉会員・顧問等70名の出席を頂き協会新春懇談会、全国大会報告会並びに受賞祝賀会を行いました。

会長挨拶の後、盛岡市市民部長伊瀬谷渉部長の祝辞と続き、(公財)岩手県体育協会功労者表彰を受賞した小山勝稔協会副会長並びに日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を受賞された佐藤誠氏へ国体成年女子で活躍された金澤千怜さん、立花里美さんからそれぞれ花束が贈られました。そして、吉田会長より南部九州インターハイで団体男子4位の岩手高校山岳部門舛銀河 熊谷宗平 一戸藍選手、団体女子3位の盛岡第一高校登山部 山下ちひろ 佐藤百恵 舘成美 佐藤里咲選手そして茨城国体成年男子(ボルダリング)第6位の山内響(神奈川大学3年) 中島大智(神奈川大学1年) 少年男子(リード)第8位の大賀羽玖(和賀東中3年) 本明優哉(水沢工業高校1年)に感謝状が贈られました。また国体・東北総体に出場した選手が畠山専務理事よりそれぞれ紹介され来年に向けた抱負が語られました。

八幡平市地域振興課渡辺信課長の乾杯の発声で懇談に移りました。懇談会には花巻市大迫総合支所の清水正浩支所長や(株)いわて電力の石塚取締役営業部長にも出席して頂きました。



新春とあって大変盛り上がり、時間の過ぎるのがあっという間で、タイムオーバーの中、無理やりお開きとさせていただきます。ご苦勞様でした。

山岳岩手の歴史を各種大会で着実に紡いで頂いている皆さんにこれからも拍手と応援をお願いします。

受賞者、選手諸君の今後の活躍をご祈念申し上げます。

## 第10回全国高等学校選抜スポーツ

### クライミング選手権大会

令和元年12月21日(土)と22日(日)の二日間、埼玉県加須市民体育館で開催された第10回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会で、盛岡南高校1年の似内舜明選手が12位、水沢工業高校1年の本明優哉選手が31位、盛岡南高校の川村草太郎選手が92位。女子個人では、盛岡南の三角唯香選手が33位、盛岡一高の佐藤百恵選手が79位、盛岡南の三浦凜選手が88位となった。

まだこれからの選手たちであり、高みを目指し壁に向かってほしい。

## 国体募金

今年もご協力ありがとうございます。

(令和2年1月31日現在)順不同

毎年、皆様からお寄せ頂いています国体募金。今年も多くの皆様の支援有難うございました。

前回10月31日の段階でお寄せいただきました募金総額は、11団体、個人24名で301,000円となりましたが、その後次の方々からお寄せいただき326,000円となりました。皆様からのご芳志は金銭面的なことと併せ、岩手県山岳協会の看板を背負い県代表として戦う選手諸君にとって大きな支えと励みになっています。

巖鷲山岳会、翌檜山岳会の2団体、遠藤敏英(矢巾山好会)、武田勝栄(巖鷲)、吉田春彦(都南)の各氏。

## 指導員会インドア研修会開催

恒例の(一社)岩手県山岳協会指導員会(会長 佐藤誠)主催のインドア研修会が1月25日(土)と26日(日)の二日間、宮古市の国民休暇村宮古で開催されました。

研修会には、指導員30名が出席。机上研修として盛岡南高校前校長岩澤健二氏をお招きし「エベレストの頂」の演題で、お話をいただきました。

講師の岩澤先生は、北海道名寄市出身でインターハイ優勝監督、国体優勝監督、キリマンジャロ アコンカグア モンブラン モンテローザ登頂等を成し遂げられました。

今回の講演では、エベレスを目指そうとしたお話や教



員を辞めてからエベレスト登頂までの準備期間のこと、高所順応時の苦しさ、気になる費用を抑える方法等貴重な体験談をいつものクイズを交えながらお聞きすることができました。

研修会の後は、宮古名産の名酒、地酒を酌み交わしながらの山談議で懇談を深めました。

地元、盛合敏男さんをはじめ指導員会会員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

## パートナー会員募集!

(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会ではパートナー会員の募集を始めました。

登山やスポーツクライミングに関する情報、当協会や日本山岳・スポーツクライミング協会が実施する講習会の情報などを受けることができます。

また、登山技術の研究、高山植物の保護や遭難対策活動、スポーツクライミング大会の運営など特定の目的を持って活動することができます。

### 1 申し込み

原則としてすべて電子メールでのやりとりとなります。

パートナー会員希望者については、協会ホームページ <https://iwatesankyo.or.jp/> にある様式1を記入して送信してください。

送信先 o2038osamu@xsj.biglobe.ne.jp

送信後に受け付けた旨のメールが届きますが、それは加入通知ではなく、後日理事会承認後に正式に会員となった内容の通知のメールを送付します。

### 2 年会費

メールの受理後に、年会費3,000円をお支払ください。年会費の日割り計算はしません。いつ入会しても3,000円で年会費の有効期限は、3月31日までとなります。次の口座への振り込みをお願いいたします。会員証(領収書を兼ねる)は口座入金確認後送付いたします。

岩手銀行本宮支店 普通預金 NO: 2127610

「一般社団法人 岩手県山岳・スポーツクライミング協会 会長 吉田春彦」

### 3 会員特典

情報提供等が主となりますが、やりたいことがあれば積極的に活動することができます。

### 4 個人情報の保護

個人会員として取得する皆様の個人情報は、必要最小限としています。それ以上必要な情報は、電子メールで個別に照会します。取得した情報の一切は、本協会の事業



においてのみ利用し、他に提供することはありませんが、仮にある場合は、改めて了承を得ようします。

#### 5 中途退会

中途退会の場合協会ホームページ内にある様式 3 に記入の上メールまたは郵送してください。お支払いいただいた会費の返還は行いません。

### 第 5 回定時理事会報告

日時 令和元年 11 月 6 日 (水) 19 時～21 時 00 分  
場所 盛岡市 (公財)岩手県体育協会会議室

出席者 吉田会長、小船、武田、小山の各副会長、  
畠山、佐藤(誠)、小野寺、遠藤、中島、山口、村上、  
十二林、千葉(真)、新田の各理事、遠藤、盛合監事、  
欠席者 植田、土井、島崎、佐藤(幸)

#### ○協議事項

##### (1)第 4 回議事録の承認について

全会一致で承認された。

##### (2)上半期業務執行状況について

全会一致で承認された。

ただし、様式について統一するよう注文があった。

##### (3)「2019 ナショナルパーク八幡平フォーラム」(主催八幡平国立公園協会)への後援について

全会一致で承認された。

##### (4) 令和元年度初冬期講習会兼指導員研修会について(別紙)

令和元年度冬山研修会兼指導員研修会について(別紙)

スポーツクライミング競技審判員、ルートセッター資格更新研修会について(別紙)

3 件とも理事スタッフ会議で審議されものであるが、一部申し込み先のアドレス及び申し込み締め切り日修正のうえ、承認された。

##### (5)その他 県山協 80 周年について

佐藤誠理事より、次のように提案があった。70 周年にはモンブラン登頂を実施した。80 周年にも海外遠征、ヨーロッパ遠征し登頂もしくはトレッキングをしてはどうか。会長より相対的に進めてはどうかと提案があり、実行委員会を設置し進めていくこととした。

#### ○報告事項

##### (1) 事務局

- ・アジア選手権 2020 年盛岡開催中止について及び 2020 東京五輪代表選考について

吉田会長より、上記内容について説明があった。

- ・(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰 佐藤誠氏決定 表彰式 12/7

小野寺事務局長より決定の報告があった。

- ・(公財)岩手県体育協会体育功労表彰者 副会長小山勝稔氏決定 表彰式 11/21

小野寺事務局長より決定の報告があった。

尚、両名の祝賀会は 1 月 13 日に国体報告会と一緒に実施する旨の報告もあった。

- ・山協ニュース 211 号発行

小野寺事務局長より発行の報告があった。

- ・国体募金について

募金総額は、11 団体、個人 24 名で 301,000 円。

小野寺事務局長より現時点での報告があった。

- (2) 指導部 審議事項なし

- (3) 登山普及部

岩手山八合目避難小屋管理

- ① 岩手山八合目避難小屋 夏小屋から冬季小屋への切替作業

実施期日：10月26日(土)～27日(日)

参加者 21名 協力団体 10団体

滝沢市山岳協会 2名 盛岡 RCC 1名 巖鷲山岳会 8名 福岡山好会 1名 岩手アルペンローズ 1名 北上山岳会 3名 日本山岳会岩手支部 2名 盛岡山想会 1名 釜石山岳協会 1名 玉山会 1名 山口部長より上記のとおり報告があった。また、武田会長より冬期のトイレを今年は靴を履いたままでも使用できるようにしてみた旨の報告があった。良ければ継続したいとのことである。尚、アイゼンは脱いでもらう。

- ② 岩手山八合目臨時診療所開設 (第 3 回)

9月22日～23日

悪天候のため登山者はなく利用者はいなかった。

中島理事より自分がいるときに診療所の看板をあげていいか問い合わせがあったが管理者との関係もあり検討課題とした。

- ③ 小屋宿泊者の状況 別紙

- ④ 小屋の収入状況 別紙

それぞれ、山口部長より説明があった。

登山普及関係

- ① 「山の日」記念事業 地域住民との交流登山実施状況 別紙

- ② 岩手山薪荷上げ登山の実施状況

(10月31日現在) 別紙

- ③ 安全登山指導者研修会 {東部地区}  
 期日：令和元年9月14日～16日  
 会場：北海道東川町 キトウシ森林公園  
 屋外実習：旭岳 参加者 武田勝栄 小野寺修
- ④ 全日本登山大会岐阜大会  
 期日：令和元年9月28日～30日  
 会場：岐阜県高山市 市民文化会館・ひだホテルプラザ  
 交流登山：乗鞍岳ほか  
 参加者：日山協参与 矢羽々文一郎 早池峰山岳会 鶴田惣吉 盛岡 RCC 太野千枝子 滝沢市山協 千葉豊 玉山会 吉田俊子 登山普及部 山口 6名参加
- ⑤ 仮称「岩手山の花と木」  
 第3回編集委員会 8月31日  
 第4回編集委員会 11月10日
- ⑥ 自然保護委員総会・山岳自然保護の集い「金華山大会」  
 開催日：令和元年11月9日～10日  
 会場：石巻市 三陸復興国立公園金華山周辺  
 それぞれ、山口部長より説明があった。

(4) 競技運営部

第2回岩手県ボルダリング&スピード大会  
 遠藤部長より上記について説明有。

尚、競技運営部はトレラン大会が無くなり、競技運営部の内容はスポーツクライミング部と重なっており、部の編成も含め考えてほしい旨の提案があった。検討課題とした。

(5) スポーツクライミング部

- ・国民体育大会結果

	リード	ボルダリング
成年男子 山内・中島	11位	6位
成年女子 金澤・立花	17位	10位
少年男子 大賀・本明	8位	15位

畠山専務理事より説明有。

成年男子の入賞は岩手国体でも達成できなかった快挙である。少年男子も頑張った。成年女子のボルダリングもベテラン勢が決勝まで進みまだまだできる人たちである。

- ・1年～2年親子クライミング体験教室について  
 109人の参加者であった。

(6) 高体連

- ・高校新人登山大会

学校対抗

男子1位 盛岡第一高校 98.6点、2位 岩手高校 98.3点、3位 盛岡工業高校 93.1点

女子1位 盛岡第一高校 99.3点、2位 盛岡南高校 95.1点、3位 一関第一高校 74.8点

チーム対抗

男子1位 岩手高校 C 298.2点、2位 岩手高校 C1 95.6点、3位 盛岡工業高校 C1 85.2点、女子1位 盛岡南 B2 89.4点

- ・第9回岩手県高校生クライミング選手権大会  
 リード

順位	男子	女子
1	本明 優哉 (水工)	三角 唯香 (盛南)
2	似内 舜明 (盛南)	佐藤 百恵 (盛一)
3	川村草太郎 (盛南)	三浦 凜 (盛南)

ビギナー

順位	男子	女子
1	佐藤 翔 (水工)	藤川 愛 (盛一)
2	菅原 蓮 (水工)	佐々木 瑞希 (水工)
3	佐々木 蓮 (水工)	若林 佳乃子 (盛一)

千葉理事より説明有。

全国クライミング大会の学校代表は男女とも盛岡南高校である。

7 経過報告

- ・8.9-10 ジュニア登山 in 岩手山 2019
- ・8.11 山の日 八合目臨時診療所開設
- ・8.10-22 スポーツクライミング世界選手権
- ・8.25 岩登り講習会研修会 展勝地
- ・8.25 サマーセッション 盛岡
- ・9.11 第4回理事・スタッフ合同会議 盛岡
- ・9.14-16 安全登山研修会 (北海道)
- ・9.14-16 ジュニアオリンピック大会
- ・9.28-30 全日本登山大会 岐阜県高山
- ・9.20-21 高体連登山基礎講習会 (中期) 山田町鯨山
- ・9.27-29 岩手県高等学校新人登山大会 山田町鯨山
- ・10.4-6 国民体育大会 茨城県鉾田町
- ・10.11 高体連基礎講習会 (後期) 運動公園

- ・ 10.13 岩手山八合目避難小屋常駐終了
- ・ 10.20 岩手県高校生クライミング選手権大会  
運動公園
- ・ 10.26-27 岩手山八合目避難小屋夏から冬切替
- ・ 10-26 スポーツクライミング 認定会
- ・ 11.2-3 第2回岩手県ボルダリング&スピード大会
- ・ 11.6 第5回理事会
- ・ 11.9.10.12 親子クライミング・ボルダリング教室
- ・ 11.21 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」研修会・ 県体協栄光賞功労賞表彰式 サンセール盛岡
- ・ 11.23-24 東北六県ブロック会議 (山形)
- ・ 11.28-12.1 IFSC 複合予選会 トゥールーズ 2019  
フランス
- ・ 12.7-8 初冬期講習・研修会 (三ツ石山)
- ・ 12.21-22 第10回全国高等学校選抜クライミング大会  
加須
- ・ 1.11 日山協新春懇談会
- ・ 1.13 名誉会員顧問・懇談会 県山協新春懇談会 国体・インターハイ等報告会
- ・ 1.25.26 指導員会研修会 (宮古市)

#### 今後の予定

- ・ 2.1 SC審判員・ルートセッター研修会
- ・ 2.8-9 冬山講習・研修会 (岩手山)
- ・ 2.16 日山協全国理事長会議
- ・ 2.18 加盟団体会長・事務局長会議⇒検討する
- ・ 2.19 第4回理事・スタッフ会議  
(飯岡地区公民館)
- ・ 2.21 高体連60周年記念式典

8 閉会

#### 新ボルダリング場 (完成予想図)



#### 今後の主な予定 (5月まで)

- ・ 2.1 SC審判員・ルートセッター研修会
- ・ 2.8-9 冬山講習・研修会 (岩手山)
- ・ 2.19 第4回理事・スタッフ会議  
(飯岡地区公民館)
- ・ 2.21 高体連60周年記念式典
- ・ 3.7 加盟団体会長事務局長会議  
(県体協会議室)
- ・ 3.15 ボルダリング選手権大会  
兼国体選手選考会 (予定)
- ・ 3.18 第6回理事会
- ・ 4.8 第1回理事スタッフ会議
- ・ 4.19 リード選手権兼国体選手選考会
- ・ 4.22 監査
- ・ 5.9 東北六県山岳連盟協議会 (秋田)
- ・ 5.13 第1回理事会
- ・ 5.16-17 第3回コンバインド  
ジャパンカップ盛岡
- ・ 5.23 定期総会
- ・ 5.23-24 残雪期講習会

**応援しています。**

岩手の山岳・スポーツクライミング

